

## 10日 木曜

### ホセア

8:1 「あなたの口に角笛を当てよ。鷺のようなものが、【主】の宮の上にいる。彼らがわたしの契約を破り、わたしのおしえに背いたからだ。

8:2 彼らはわたしに向かって叫ぶ。『わが神よ、私たちイスラエルは、あなたを知っています』と。

8:3 イスラエルは善を退けた。敵は彼らに追い迫る。

8:4 彼らは王を立てたが、わたしによってではない。首長を立てたが、わたしは知らない。彼らは自分の銀や金で自分のために偶像を造った。ただ断ち切られるために。

8:5 サマリアよ、あなたの子牛は退けられる。わたしは彼らに向かって怒りを燃やす。いつになれば、彼らは罪のない者となれるのか。

8:6 それはイスラエルから出たもの。それは職人が造ったもので、神ではない。サマリアの子牛は粉々に碎かれる。

8:7 彼らは風を蒔いて、つむじ風を刈り取る。麦には穂が出ないので、麦粉を作れない。作れたとしても、外国人がこれを食い尽くす。

8:8 イスラエルは?み込まれた。今や、彼らは国々の間であって、だれにも喜ばれない器のようになった。

8:9 彼らは、ひとりぼっちの野ろばで、アッシリアへ上って行った。エフライムは愛を求めて贈り物をした。

8:10 彼らが諸国の民に物を贈っても、今、わたしはそれらを集める。彼らは、王や首長への貢ぎによって間もなく汚されることになる。

8:11 エフライムは祭壇を増やして罪を犯すようになった。それらは彼にとって罪を犯すた

めの祭壇となった。

8:12 わたしが彼のために、多くのおしえを書いても、彼らはこれを外国人のもののように見なす。

8:13 わたしへのささげ物のいけにえとして彼らが肉を献げて食べたとしても、【主】はこれを喜ばない。今、主は彼らの不義を覚え、その罪を罰する。彼らはエジプトに帰る。

8:14 イスラエルは自分の造り主を忘れ、神殿をいくつも建てた。ユダは、城壁のある町々を増し加えた。しかし、わたしはその町々に火を放つ。火はその宮殿を焼き尽くす。」

イスラエルが神様から離れた状態が指摘されています。王は国のためになるようですが、しかし神様によるものでないなら、それは不信仰です。教会においてもそれは同じです。

サマリヤの子牛は偶像です。クリスチャンが偶像を隠し持っていることは、有り得ないことです。諸国の間で自己防衛のために、策を講じてもそれが主を頼るものでないなら、国々を神としているようなものです。クリスチャンが人を頼って失敗するのも同じです。

神殿で信仰的なことをしているようでも、以上のような状態であるなら、その神殿は焼き尽くされてしまうのです。私たちは信仰の生き方をもって、神殿すなわち教会で礼拝をしましょう。



①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

